



心ひとつに

美郷中学校
学校報 NO.40
R5. 2. 13

第2回授業改善強調週間

1月30日(月)～2月3日(金)、第2回授業改善強調週間があり、次のような結果となりました。評価項目は「2分前着席」「授業への集中度」「挨拶・返事」です。これからも、やればできることに学級が「心ひとつに」取り組み、各学年の締めくくりをしっかりと行いましょう。

◎1位

1年4組、2年4組、3年5組

○2位

1年1組、2年3組、3年1組



第2回 学校評議委員会

7日(火)午前、今年度2回目の学校評議員会を校長室で開催し、学校評議員の方3名が来校してくださいました。

<学校評議員>

六郷高校 校長 ○○ ○○ 様

元美郷中学校 PTA会長 ○○○○○ 様

仙南小学校 PTA会長 ○○ ○ 様

今回は、学校の近況について説明した後、学校活性化アンケート(生徒・保護者)と、職員による学校評価の結果を見ていただきながら、情報交換や意見交換等を行いました。

いただいた意見や質問、回答等を紹介します。

- ・保護者アンケートの中に、家庭でのお子さんの姿を評価してもらう内容を加えてはどうか。
- ・県学習状況調査の結果から、成果と課題について職員でしっかりと共通理解して、生徒の能力を高めていってほしい。
- ・美郷中学校のあいさつは地域でも評判がよいので、継続してほしい。
- ・夏休みの課題をなくしたことで、学力への影響や、計画を立てての勉強への不安等はないか？
□学力については県学習状況調査の結果等から、マイナスの影響はないと考えている。計画を立てることに限っては、先生たちがしっかりと指導してくれている。「勉強しろ！勉強しろ！」と育てられた子どもは、「勉強しろ！」と言われなくなれば勉強しなくなる。将来の夢や目標に向かって自らががんばろうとする生徒を育てたい。
- ・学校で生徒がいやな思いをするのも大切な経験だと思う。それが今は、許容されなくなっている。生徒がいやな思いをすれば、いじめ扱いとなり、学校側が対応するしかない。いやな思いをしたり、傷つけられたりしても、我慢して成長していくといった、人生で学ぶべきことが学校で学べなくなっている。いいことばかり、楽

しいことばかりの学校を卒業していけば、社会に出てから難儀することになると思われる。

- ・平成7年度末まで、休日の運動部活動の地域移行の達成を目指すことになっているが、今現在、どのような動きがあるのか？

□今年度、美郷町教育委員会が先に立って「打合せ会」と「学習会」を開催した。来年度は、部活動の在り方に関する組織を立ち上げると聞いている。指導者を確保することが大きな課題となりそうである。

お知らせ

8日(水)1時間目、1年生が天筆を体育館に飾りました。とてもきれいですが、14日頃にはお祭り会場へ移動します。PTAで見ただけで、残念！



2・3年生の生徒玄関横にひな人形を飾ってあります。お内裏(だいり)様、三人官女、五人囃子(ばやし)、二人の随臣(ずいしん)、三人の仕丁(じちよう)がそろっています。※恥ずかしながら、「お内裏様とおひな様」が上の二人のことだと思っていました。



南棟への1階渡り廊下、体育館渡り廊下などに、美術



の授業で制作した生徒作品が展示されています。

力作揃いですので、どうか、ご覧ください。

□令和5年 全県新年書きぞめ展

◎優秀賞 ○○○○(15) ○○○○○(32)

○○○○(34)

◎金賞 ○○○○○(32)

◎銀賞 ○○○○○(14)

◎銅賞 ○○○○○(13) ○○○○(23)

○○○○(34)

祝